

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	17151				
事務事業名	繰越明許費温泉供給事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	7	項	1	目	5
施策目標	自然と共生した環境の創造								
施策項目	安定した温泉の供給								
前期計画掲載頁	80		頁	個別計画					頁
事業期間	平成	29	年	～	平成	29	年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	老朽化の進んでいる配湯管の更新を行い、大町温泉郷内における温泉の安定供給を確保する。								
事業内容	大町温泉郷配湯管布設替工事の実施。								
事業費	財源内訳	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		総事業費（決算額）	0円		0円		60,000,000円		
		国庫支出金	円		円		円		
		県支出金	円		円		円		
		起債	円		円		47,000,000円		
		その他財源	円		円		円		
		一般財源	0円		0円		13,000,000円		
活動指標	指標名		単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値
	①	配湯管更新延長	m			829	—	—	—
	②								
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	配湯管更新率	%			46	—	—	—
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）老朽配湯管の更新により温泉の安定供給が確保できる。									

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	2	3	3	2	3	事業完了終了	16	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>大町温泉郷の配湯管は、総延長約3.8kmで、その大部分は昭和40年代に布設されたものである。布設から50年近く経過し、老朽化による漏湯が全域で発生し安定供給ができていないことから、平成27年度から配湯管更新に取り組んでいる。</p> <p>平成29年度末で全体の46%、1.8kmの更新が終了した。引き続き、計画的に更新を進めていく必要がある。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	1715107					
事務事業名	温泉供給事業			会計	一般会計					
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	7	項	1	目	5	
施策目標	自然と共生した環境の創造									
施策項目	安定した温泉の供給									
前期計画登載頁	80		頁	個別計画					頁	
事業期間	平成	26	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 上原地区、高瀬分譲地温泉施設管理要綱		

事業の目的	貴重な地下資源である温泉を有効活用することにより、市の観光振興と市民福祉の向上を図る。								
事業内容	源泉の保全と利用者に安定して温泉を供給するため、日常点検を通じて施設を適切に管理し、老朽化の著しい施設は計画的に更新を行う。								
事業費	財源内訳	年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		総事業費（決算額）	46,709,780 円		119,218,650 円		75,920,048 円		
		国庫支出金	円		円		円		
		県支出金	円		円		円		
		起債	円		86,200,000 円		37,500,000 円		
		その他財源	45,301,720 円		26,073,018 円		23,146,680 円		
		1,408,060 円		6,945,632 円		15,273,368 円			
活動指標	指標名		単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値
	①	日常点検	日	232	230	236	245	96.3	246
	②	温泉郷配湯管更新	m	72	804	829	836	99.2	449
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	上原地区供給湯量	ℓ/分	45	45	45	45	100.0	45
	②	高瀬分譲地供給湯量	ℓ/分	180	177	177	177	100.0	174
	③	温泉郷配湯管更新率	%	1.9	23.5	46	46	100.0	58
	2. 数値で表せない効果		(指標) 供給湯量の確保と安定供給が図られている。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
	点数	3	2	3	3	3	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）		
<p>本事業は、利用者に安定して温泉を供給することが求められているが、管理する施設には昭和40年代に布設された管が多く、老朽化が進んでいる。</p> <p>特に、大町温泉郷では漏湯の発生が著しく、安定供給ができない状況にあるため、平成27年度から更新事業に取り組んでおり平成29年度末で全体の46%、1.8kmの更新が終了した。残りの2kmについても引き続き計画的に進めていく。</p> <p>また、上原地区においても漏湯等の支障は出ていないものの、更新は避けられない問題である。温泉郷の更新が終了した後は上原地区の更新に取り組んでいく必要がある。</p>		
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）		
温泉郷配湯管更新	布設替工事（2km）	H30～H35
上原地区配湯管更新	計画策定（0.8km） 布設替工事	H36 H37～H38

事務事業評価票

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	122111				
事務事業名	水道施設整備事業			会計	公営簡易水道事業特別会計				
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	2	項	1	目	1
施策目標	自然と共生した環境の創造								
施策項目	上水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用								
前期計画登載頁	80		頁	個別計画					
事業期間	平成	18	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	災害に強い簡易水道の施設整備と適切な維持管理								
事業内容	災害時等における水源のバックアップを図る連絡管の新設や、老朽化した送・配水管の布設替及び水源ポンプ場や配水池に設置している電気計装・機械設備の更新を計画的に実施し、水道水の安定供給を図る。								
事業費	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	総事業費（決算額）		65,934,615 円	57,909,600 円	52,768,800 円				
	財源内訳	国庫支出金		円	円	円			
		県支出金		円	円	円			
		起債		29,800,000 円	27,100,000 円	23,100,000 円			
		その他財源		29,800,000 円	27,100,000 円	23,100,000 円			
一般財源		6,334,615 円	3,709,600 円	6,568,800 円					
活動指標	指標名		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	送配水管布設替	m	718	1,039	248	484	51.2	600
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	送配水管布設替	m	718	1,039	248	484	51.2%	600
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<p>小規模な水源と配水池等による中山間地に点在する集落への安定した水道水供給にあっては、施設の老朽化をはじめ、自然災害による影響を受けやすくなっている。管路延長も長く水源及び配水池等の水道施設における電気計装・機械設備も数多くあり、故障や異常を監視するためには、計装設備を良好な状態で使用し、異常発生の際には迅速な対応をとる事が重要となっている。地区住民の安心・安全な生活の基本である安定した水道水の供給を図るためには、必要度や緊急度に応じた計画的な管路の布設替や計装設備の更新は今後も必要となってくる。給水人口の少ない簡易水道では施設の維持管理費や建設改良費が割高な投資となっているが、料金収入は限られており費用対効果、投資効果としては低い評価となっている。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<p>安心・安全な生活の基本である安定した水道水の供給を図るため、計画的な管路の布設替や計装設備の更新を行っていく。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	401111
事務事業名	上水道事業			会計	企業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	上水道の整備				
施策項目					
前期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の目的	水道水源の保全や計画的な施設整備と老朽施設の計画的な更新や耐震化を推進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。								
事業内容	水道料金等の賦課、徴収、送配水管等の適切な管理及び送配水管等の計画的な更新並びに水道事業会計の安定的かつ健全な運営に努めている。								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		136,429,581 円		139,003,170 円		226,298,506 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		1,729,600 円		11,195,241 円		8,197,606 円	
一般財源		134,699,981 円		127,807,929 円		218,100,900 円			
活動指標	指標名		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	水道事業収益（税抜）	千円	539,006	533,875	533,055	541,701	98.4%	533,000
	②	原水供給収益（税抜）	千円	29015	29,837	31,202	29,160	107.0%	32,000
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	純利益（税抜）	千円	109,977	108,903	93,786	110,527	84.9%	89,097
	②	現金預金	千円	836,920	876,784	494,139	841,105	58.7%	486,228
	③								
	2. 数値で表せない効果 (指標)								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3	継続	18 / 18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>収益的収入では、給水収益は給水人口の減少と節水志向のため、減少傾向が続くものと予測している。原水供給収益は安定的に推移しており、給水収益の減少を補う重要な収益源となっている。</p> <p>導送水管は水道の根幹的な施設であり、内陸直下型の大地震が予想される当地域では、管の耐震化も図る必要があり、今後もこれら更新事業に係る投資額の増大が予想されるため、計画的な施設の更新を進めている。</p> <p>併せて、必要な投資と現金収支のバランスに留意し、将来の配水池築造等の大規模投資のための現金預金の確保と健全な財政運営に努める。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>導送水管は水道の根幹的な施設であり、計画的な施設の更新を進め、将来の配水池築造等の大規模投資のための現金預金の確保と健全な財政運営に努める。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	401113
事務事業名	温泉引湯事業			会計	温泉引湯事業会計
まちづくりのテーマ	第4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			款	項
施策目標	自然と共生した環境の創造				
施策項目	安定した温泉の供給				
前期計画掲載頁	80	頁	個別計画		頁
事業期間	平成11年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大町市水道事業等の設置等に関する条例・大町市温泉引湯事業実施要綱

事業の目的	貴重な資源である温泉を利用し、市内の産業振興、地域開発及び市民生活の向上を図る。							
事業内容	○源泉から集めた温泉を上原分湯槽まで約7.8km引湯し、契約者に温泉を供給する事業で、24時間安定して温泉を供給するため、源泉や引湯施設の適切な維持管理と計画的な施設更新を行う。 ○温泉利用料等の適正な賦課徴収と経費の削減など効率的な運営に努め、事業の安定かつ健全経営を図る。							
事業費	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	総事業費（決算額）	53,974,627 円	59,845,818 円	48,706,985 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円			
		県支出金	円	円	円			
		起債	円	円	円			
		その他財源	240,000 円	240,000 円	円			
温泉引湯会計一般財源		53,734,627 円	59,605,818 円	48,706,985 円				
活動指標	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値
	① 供給件数	件	9	9	9	9	100.0	9
	② 日常点検	日	236	233	242	246	98.4	246
	③ 引湯管更新	m	124	0	60	60	100.0	130
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	① 年間総供給湯量	m ³	582,890	582,890	577,634	577,634	100.0	577,634
	② 引湯管更新率	%	15.3	15.3	16.1	16.1	100.0	17.7
	③ 純利益（税抜）	円	14,944,577	10,826,923	20,528,125	8,268,000	248.3	14,586,000
	2. 数値で表せない効果	（指標 ） 日常点検等、適正な維持管理により湯量の確保と安定供給が図られている。						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	2	3	3	3	3		18		

【具体的な課題と改善】

<p>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</p> <p>本事業は何よりも安定した温泉の供給が求められており、日常点検や定期点検を通じて、施設の維持管理に努めていますが、経年劣化に伴う施設の更新は避けられない。このため、多額の費用が必要となる更新事業の実施にあたっては、費用と期間の平準化を図りながら計画的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>収益的収入の大部分は、契約者からの温泉利用料である。現在、毎年度純利益が出ており、健全経営が確保できているが、今後、施設の更新に伴って減価償却費や資産減耗費等の収益的支出の増加が見込まれる。将来にわたって健全経営を維持していくためには、料金の見直しを行うなど、収益の確保に努めていかなければならない。</p>
<p>改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）</p> <p>3年ごとの温泉供給契約の更新にあわせ、収益と費用のバランスを考慮し、適正な料金となるよう温泉利用料の見直しを行い、更新のための財源確保に努める。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	501213
事務事業名	公共下水道事業			会計	公共下水道事業会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進				
施策項目					
前期計画掲載頁	頁	個別計画			頁
事業期間	平成	2	年	～	平成
					年
	根拠法令・要綱等				

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。 								
	<ul style="list-style-type: none"> 大町浄水センターの整備 松川浄水苑の整備 管渠施設の整備 舗装本復旧 								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		726,059,206 円		898,150,119 円		927,200,186 円		
	財源内訳	国庫支出金		51,700,000 円		136,900,000 円		81,215,000 円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		145,400,000 円		225,100,000 円		235,200,000 円	
		その他財源		528,959,206 円		536,150,119 円		610,785,186 円	
一般財源		円		0 円		0 円			
活動指標	指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	下水道事業収益(税抜)	千円	#####	1,193,001	1,046,810	#####	99.0%	#####
	②	水洗化率	%	68.3	70.7	72.5	71.8	101.0%	73.2
③	接続率	%	61.4	61.8	62.1	62.0	100.2%	62.4	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	純利益（税抜）	千円	56,394	101,525	24,305	24,548	99.0%	25,034
	②	現金預金	千円	252,433	282,481	264,455	267,100	99.0%	261,758
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が増加する。一般的に行われている事後対応による改築更新では、汚泥流出や道路陥没等の重大な事故の恐れだけでなくコスト的にも不経済なため、限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新が必要。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新を行っていく。</p>	

事務事業評価票

様式第2号

担当課	建設水道部	上下水道課	経営係	事務事業No.	601211			
事務事業名	農業集落排水事業			会計	農業集落排水事業会計			
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	項			
施策目標	下水道の整備と水洗化の促進							
施策項目								
前期計画掲載頁		頁	個別計画		頁			
事業期間	平成	6	年	～	平成		年	根拠法令・要綱等

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の改善 河川等公共用水域の水質保全。 								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 処理施設の整備 管渠施設の整備 								
事業費	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	総事業費（決算額）		65,666,769 円		67,389,970 円		61,750,722 円		
	財源内訳	国庫支出金		6,500,000 円		7,000,000 円		0 円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		59,166,769 円		60,389,970 円		61,750,722 円	
一般財源		0 円		0 円		0 円			
活動指標	指標名		単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値
	①	下水道事業収益(税抜)	千円	110,127	114,622	112,419	111,295	101.0%	111,295
	②	水洗化率	%	89.0	91.0	91.7	91.6	100.1%	92.4
	③	接続率	%	79.7	79.5	79.6	79.5	100.1%	79.7
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度（H29）	達成率	次年度（H30）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	純利益（税抜）	千円	8,236	22,636	18,803	18,615	101.0%	18,515
	②	現金預金	千円	17,330	22,952	37,639	37,263	101.0%	37,163
	③								
	2. 数値で表せない効果 (指標)								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
点数	3	3	3	3	3	3				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	
<p>今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が増加する。一般的に行われている事後対応による改築更新では、汚泥流出や道路陥没等の重大な事故の恐れだけでなくコスト的にも不経済なため、限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新が必要。</p>	
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	
<p>限られた財源で事故の未然防止を目的とする計画的な改築更新を行っていく。</p>	